

1分で読みとくアメリカ

読得
目ミトク

No.17

新たな技術導入が進む自動車業界

米国はこれまで数々の革新的な技術を生み出してきましたが、新興ベンチャー企業の参入や先進IT技術の導入により自動車産業でも新たな技術が活用されつつあります。

近年、電気を動力とする電気自動車（EV）分野で注目を集めているテスラモーターズは、2003年にシリコンバレーで設立し、EVメーカーのベンチャー企業として急成長しました。EVカーは環境への配慮やセレブ・カーとしてのイメージから、先進各国や新興国の富裕層などを中心に人気を博しています。

また、テスラのEVには高速インターネット接続機能が標準搭載されるなど、IT大国米国ならではの技術による、自動車とネットの融合の動きも広まっています。例えば、GoogleはスマートフォンOSで世界シェア1位の「アンドロイド」を自動車業界の標準ソフトウェア基盤にする取組みを開始、2014年末までにアンドロイド搭載車両を走行させることを目指しています。アップルもカーナビやオーディオといった車載機器を音声認識技術と連携させる新しい技術を発表するなど、IT関連企業が自動車という新たな分野に進出してきています。

将来的には自動車の自動運転が可能になるなど、自動車業界に押し寄せるIT化の波は、新たな自動車の形を生み出すとともに、さまざまな企業に対し大きなビジネスチャンスをもたらすことが期待されます。

EV(電気自動車)のイメージ



(写真提供) テスラモーターズ

(億ユーロ) ネット接続車関連の市場予測



(出所) GSMA ※2012年3月時点での予測

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。

<審査番号: 129176.OTHER.MED.OTU> © 2014 Goldman Sachs. All rights reserved.



Asset Management